

金太郎 公共交通計画 へのご意見と町の考え方

該当箇所	意見の概要	町の考え方	反映結果
全体	<p>JR御殿場線、富士急路線バスの日中の乗客の少なさに驚いている。しかし、運転のできない者、車を所有していない者にとっては、無くてはならない交通手段である。御殿場市、小山町の医療機関のデイサービスや送迎バスも多くみられるが、これ以上の減便は絶対に無いように願いたい。</p>	<p>町としても同様に考えており、運転のできない人や車を使えない人が外出できるよう、今後も公共交通の維持確保に努めていきます。</p>	<p>金太郎 公共交通計画を推進することで、継続的な公共交通の維持確保していきます。</p>
全体	<p>町内巡回バスの利用者が少ない理由として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の運行計画では、生涯学習センターと健康福祉会館に向けての運行ではなかったか。 ・例として、総合文化会館で催される1:30～の開催時間に間に合う時間帯の運行はどのルートからも無い(当初はあった) ・終了時間帯に都合のよい便がないなど利用勝手がよくない事は、講座、講演会などの集客率の低さに繋がっている。 ・路線バスと巡回バスの運行時間がほぼ同じことが多い。 ・医療機関への通院、買い物などの足としても大切である。交通弱者は引きこもりになりがちである。交通手段の不便を感じていない方の多い会議では、本当に必要とする意見は出ないと感じた。 ・巡回バスの有料化に賛成 ・小山町経由下谷～生土の運行は午前、午後各1便でも継続して欲しい。 ・夜間の催事についての集客にも町内巡回バスの運行は可能か。 ・JR利用者増加促進に、金太郎町の駅を活用できないか。(ボランティアガイドやJRのOBの協力など) ・薄暗い寒い駅待合い室で帰宅の電車を待つ中学生の姿を見ると不安を感じる。駅のトイレが地下にあることも事件に繋がらなければ良いが。多目的トイレを整備できないか。 ・町民が成すべきこととして、老人会・子供会・趣味の会などと一緒に、駅を美しく目立つようにして、「今度、ここで降りてみよう」と車窓からの景観をアピールする。 <p>公共交通機関を利用することこそが、排気ガス軽減、地球温暖化抑制に繋がると思います。</p>	<p>多くのご提案を頂き、本計画の中でも交通事業者と連携しながら、乗継拠点の整備と周辺施設との連携、路線バスの利用促進、そして新たなコミュニティバスの運行を計画するうえで参考とさせていただきます。</p>	<p>P62 乗継拠点の整備におけるJR駿河小山駅に関する取り組みとして、金太郎町の駅、駅前商店街、案内ボランティア等との連携について記述を加えます。</p> <p>今後の路線やダイヤの検討の際の参考といたします。</p>